防	火	管	理	[者								
立		会			者								
点	検	年	月		日	年	月	日	~	年	月	F	3
防	火 管	理維	持	台	帳	記録の有無	□有・□−	部有・□無	保存の	有無 □有	·	部有・	□無
防	階	階	別	事	項	用	途	床面	i 積	点検す 分の床		備	考
火	別				階				m²		m²		
対	概				階				m²		m²		
象物	要(階				m²		m²		
の の					階				m²		m²		
概					階				m²		m²		
要	号棟)				階				m²		m²		
		쇤	ì	計					m²		m²		
備													
考													

備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。

- 2 防火管理維持台帳の欄は、該当する□に レ点を記入すること。
- 3 防火対象物の概要が欄に記載できない場合は、別紙に記載し添付すること。

		点検項目		点	検	結 昇	Ę		442	VΠ	774	7 K	措	黑	内	宓
	1		判定		不	備	内容	ř	1/\	ÐL	及	0,	18	<u> </u>		台
	防火	管理者選任 (解任)	□ 適													
届出	消防	計画作成 (変更)	□ 適□ 否													
ш	自衛	消防組織の設置	□ 適													
	自復	新消防の組織	□ 適													
	火災	予防上の自主検査	□ 適													
	消防用設	用設備等又は特殊消防 備等の点検及び整備	□ 適													
		施設の維持管理びその案内	□ 適													
	防維	k 上 の 構 造 の 持 管 理	□ 適													
	収 容	・人員の適正化	□ 適 □ 否													
		管理上必要な教育	□ 適													
	消火、その	、通報及び避難の訓練)他 必 要 な 訓 練	□ 適													
		活動、通報連絡び 避 難 誘 導	□ 適													
		j機関との連絡	□ 適													
	又は	「中の火気使用 は取扱いの監督	□ 適													
	防め	k 管 理 に 関 し 要 な 事 項	□ 適													
	自衛	活 動 要 領	□ 適 □ 否													
消	消防組	要員の教育及び訓練	□ 適													
防	織	業務に関し必要な事 項	□ 適													
計	共同	協議会の設置及び運 営	□ 適													
画	自衛	統括管理者の選 任	□適													
	消防組	業務を行う範囲	□ 適													
	織	運営に関し必要な事項	□ 適													
	防っ	た管理業務の 部 委 託	□ 否													
	権	原 の 範 囲	□ 商													
	に地 所震	自衛消防の組織	□ 商													
	在防	情報等の伝達	口商													
	す災 る対	避難誘導	回適													
	防策	施設及び設備の点検及び整備	□ 適 □ 否 □ 適													
	火強 対化	応 急 対 策	□否													_
	象地	防 災 訓 練	□ 適 □ 否 □ 適						\perp							
	物域	教育及び広報消火訓練及び避難	□ 否													
	防火管	消火訓練及び避難 訓練の実施回数 消火訓練及び避難訓練	□否						\perp							_
	理 者	を実施する場合の調料の機関への通報	□ 適													

備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。

- 2 判定の欄は、適正な場合は「適」の口に ν 点を記入し、不備のある場合は「否」の口に ν 点を記入するとともに、不備内容の欄にその内容を記入すること。
- 3 状況及び措置内容の欄には、点検時の点検項目の状況及び点検の際措置した内容を記入すること。
- 4 該当のない点検項目については、状況及び措置内容の欄に「該当なし」と記入すること。

(その3)

	点 検 項 目	判	点定	検 結 果 不 備 内 容	状	況	及	び	措	置	内	容
	統括防火管理者選任		適									
届	(解任)		否									
出	全体についての消防		適									
	計画作成 (変更)		否									
	点検項目	判	点定	検 結 果 不 備 内 容	状	況	及	び	措	置	内	容
避	避難上必要な施設		適									
及	び防火戸の管理		否									
17 1 :	火物日のまこ		適									
防	炎物品の表示		否									
圧約	宿アセチレンガス等の		適									
貯澗	蔵又は取扱いの届出		否									

- 備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
 - 2 判定の欄は、適正な場合は「適」の口に ν 点を記入し、不備のある場合は「否」の口に ν 点を記入するとともに、不備内容の欄にその内容を記入すること
 - 3 状況及び措置内容の欄には、点検時の点検項目の状況及び点検の際措置した内容を記入すること。
 - 4 該当のない点検項目については、状況及び措置内容の欄に「該当なし」と記入すること。

	点 検 項 目	法第 17 条の 2の5第1項 の適用	法第 17 条の 3第1項の適 用	点 判 定	<u>検 結 果</u> 不 備 内 容	状況及び措置内容
	消火器・簡易消火用具	_		□ 適□		
	屋内消火栓設備	□ <u>有</u> □ 無		□ <u>適</u> □ 否		
消	スプリンクラー設備	□ 有□ 無	□ 有 [□ <u>適</u> □ 否		
113	水噴霧消火設備等	□ 有□ 無	□ 有 [□ <u>適</u> □ 否		
	屋外消火栓設備	□ 有 □ 無	□ 有 [□ <u>適</u> □ 否		
防	動力消防ポンプ設備	□ 有 □ 無	□ 有 [□ 適 □ 否		
	自動火災報知設備	□ 有 □ 無	□ 有 [□ <u>適</u> □ 否		
	ガス漏れ火災警報設備	□ 有 □ 無	□ 有 [□ <u>適</u> □ 否		
用	漏電火災警報器	_		□ <u>適</u> □ 否		
	消防機関へ通報する 火 災 報 知 設 備	□ 有□ 無	□ 有 [□ <u>適</u> □ 否		
設	非常警報器具・非常警報設備	_		□ <u>適</u> □ 否		
	避難器具	_		□ <u>適</u> □ 否		
	誘導灯·誘導標識	_		□ 適 □ 否		
備	消防用水	□ <u>有</u> □ 無		□ <u>適</u> □ 否		
	排 煙 設 備	□ 有 □ 無	□ 有 [□ <u>適</u> □ 否		
等	連結散水設備	□ 有□ 無		□ <u>適</u> □ 否		
4	連結送水管	□ 有□ 無	□ 有 [□ <u>適</u> □ 否		
	非常コンセント設備	□有□無		□ <u>適</u> □ 否		
	無線通信補助設備	□有□無	□ 有 [□ 適		

備考

- この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。 法第17条の2の5第1項の適用の欄及び法第17条の3第1項の適用の欄は、 規定が適用される場合は「有」の□に **レ**点を記入し、適用されない場合は 「無」の \Box に ν 点を記入すること。 判定の欄は、適正な場合は「適」の \Box に ν 点を記入し、不備のある場合は
- 「否」の□に **レ**点を記入するとともに、不備内容の欄にその内容を記入するこ
- と。
 状況及び措置内容の欄には、点検時の点検項目の状況及び点検の際措置した 内容を記入すること。
- 5 設置義務のない点検項目については、状況及び措置内容の欄に「該当なし」 と記入すること。
- 6 水噴霧消火設備等とは、水噴霧消火設備、泡消火設備、不活性ガス消火設備、 ハロゲン化物消火設備又は粉末消火設備をいうこと。

(その5)

										(~0)0
	点	検	項	目		必要とされる防 火安全性能を有 する消防の用に 供する設備等の 概要		点相定	策 結 果 不備内容	状況及び措置内容
消防用設備等	の必	要と	され	4第1 る防火 る消防	安			適		
備等				設備				否		
	点	検	項	目		適用される消防用設備等	判	点 定	策 結 果 不備内容	状況及び措置内容
消防用設備等	小 学	f 9	9 久	: の 適	Ħ			適		
設備等	17 牙	, J	4 末 	: Vノ . 適	用			否		
	点	検	項	目		特殊消防用 設備等の概要		点 定	策 結 果 不備内容	状況及び措置内容
用特 設殊	法第	17	条第	第3項	の			適		
備消 等防	特殊	き 消	防 用	設備	等			否		
	F	Τ Λ		п		適用される消防用設備等又		点 柞	<u></u>	
	点	検	項	目		は特殊消防用 設備等	判	定	不備内容	状況及び措置内容
特消	設	置	の	届	出	u u		適		
殊防消用 防	DX.	<u></u>	<i>∨</i> ∫	/H 	ш	1		否		
用設備等 又は	次出 15-	L : 168		の検	木			適		
等は	1月 少	7. 1成	1 美	マノ (快	直	•		否		

備考

- この用紙の大きさは、日本産業規格 A A とすること。 判定の欄は、適正な場合は「適」の \square に ν 点を記入し、不備のある場合は「否」の \square に ν 点を記入するとともに、不備内容の欄にその内容を記入するこ 2
- と。 3 状況及び措置内容の欄には、点検時の点検項目の状況及び点検の際措置した 内容を記入すること。 4 該当のない点検項目については、状況及び措置内容の欄に「該当なし」と記
- 入すること。

(その6)

	点	検 項 目		点	、検	結	果		状況及び措置内容
	7//		判	定	不	備	内	容	W M X O H E F1 A
	火を	設備の位置		適					
火を使	使用す			否					
用す	うる設備	設備の管理		適					
る設	等	以偏少自在		否					
備の位	る器 具等火を使用す	器具の取扱い		適					
置・		品兵の収扱い		否					
構造	火のは	喫煙等の制限		適					
及び管	使用に関	交及等の前版		否					
理等	関する制	がん具用		適					
	限等	煙火の制限		否					

- 備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
 - 2 判定の欄は、適正な場合は「適」の口に ν 点を記入し、不備のある場合は「否」の口に ν 点を記入するとともに、不備内容の欄にその内容を記入すること。
 - 3 状況及び措置内容の欄には、点検時の点検項目の状況及び点検の際措置した内容を記入すること。
 - 4 該当のない点検項目については、状況及び措置内容の欄に「該当なし」と記入すること。

	上	検 項	頁 目		点 検 結 果							\TF	VП	77.	フド	+ #:	平	н	宏	
	点	快	垻	Ħ		判	定	7	不	備	内	容	扒	況	汉	0,	掴	追.	ΡŊ	谷
	貯	蔵		又	は		適													
指定	取	扱	<i>١</i> ٧	数	量		否													
数	w =	ŧ Φ	庙	用制	KΕ.		適													
量未	<i>)</i> ()	((V)	文	<i>(</i> נקו (דר <i>)</i>	PIX		否													
満				れ又	は		適													
の危	飛	散	の	防	止		否													
険	容				器		適													
物の	位				白白		否													
貯		計	器	類	に		適													
蔵及	少	関	す	る監	視		否													
び	量危	Þ	1/	ク 本	休		適													
取扱	険			<i>,</i> 本	/ \		否													
1X い	物	配			管		適													
		HL			B		否													

備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。

- 2 判定の欄は、適正な場合は「適」の口に ν 点を記入し、不備のある場合は「否」の口に ν 点を記入するとともに、不備内容の欄にその内容を記入すること
- 3 状況及び措置内容の欄には、点検時の点検項目の状況及び点検の際措置した内容を記入すること。
- 4 該当のない点検項目については、状況及び措置内容の欄に「該当なし」と記入すること。

	点	検 項 目		点	、検	結	果		状況及び措置内容
	スト	(快) (共) 日	判	定	不	備	内	容	小の及の相 門谷
		火気の使用制限		適					
	可	ノ ス (*) 医 / 口 間 限		否					
指	燃	漏れ・あふれ又		適					
定	KA	は飛散の防止		否					
可	性	容器		適					
燃	液	台		否					
物	1112	計器類に		適					
等	体	関する監視		否					
の	類	タンク本体		適					
貯	規			否					
蔵	等	配 管		適					
及				否					
び		火気の使用制限		適					
取	綿	ノくス(*ノ)火/口間収		否					
扱	花	 集 積 単 位		適					
٧١	類			否					
	等	計器類に関する監視		適					
		(廃棄物固形化燃料等を貯蔵し、又は取り扱う場合)		否					

- 備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
 - 2 判定の欄は、適正な場合は「適」の口に ν 点を記入し、不備のある場合は「否」の口に ν 点を記入するとともに、不備内容の欄にその内容を記入すること。
 - 3 状況及び措置内容の欄には、点検時の点検項目の状況及び点検の際措置した内容を記入すること。
 - 4 該当のない点検項目については、状況及び措置内容の欄に「該当なし」と記入すること。